

「ご近所さんとのつながり」の活動を物心両面からサポートしております、
下関市社会福祉協議会です。何かあれば、ご相談してください。

ふれあいいきいきサロン

★ ふれあい・いきいきサロンとは…『地域の縁側』です ★

誰が集まるの？

地域の人ならだれでも！
高齢者や子育て世代など
範囲を決めてもよいですし
地域住民全員対象でもOK！

誰が運営するの？

だれでもOK！
ご近所の人たちがみんなで
自発的に運営するものです。

何をするの？

皆さんの希望を聞いて
自由に決めましょう。
おしゃべり、体操、歌唱…
楽しく続けられることが大切！

いつするの？

皆さんが来やすい日時を
設定しましょう。
月1回から始めてみるのも
よいですね。

どこでするの？

参加者が歩いて行ける範囲が
おすすめ。町内会や自治会に
1か所あれば身近ですね。
例：集会所、マツヨリの共有スペース
個人の自宅、空き教室など

お金はかかるの？

費用を掛けずに楽しむのが
基本。茶菓子を持ち寄ったり
参加費をいただくなどして
運営しましょう。



下関市社会福祉協議会では、サロン活動に取り組む皆さんを支援しています。
市内のサロンの参考例や、サロン助成金など情報提供しながら一緒に考えます。
生活支援コーディネーターまでお気軽にお声かけください！
(下関市社会福祉協議会 地域福祉課 地域支援係 TEL:232-2002)

このまちにこの人NO.4

唐戸で「てらこや」というサービス

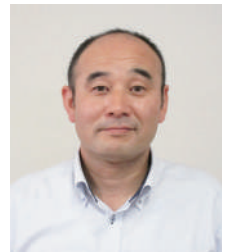
子どもたちに生きる力を育む場所を目指しております。

何故、この場所かという、それは、この中東地区には、海や山の自然、歴史、史跡、仕事、行政、教育機関等々、ありとあらゆるものが密集しており、人が豊かに育つうえでは、この上なく素晴らしいまちだからです。



そして、いろいろな経験ができる所だとも思います。その経験の中で、生きる力や思い出が育ち、人を大きくしてくれる町でもあると思います。

現に子どもたちのところを育ててくれています。この町に、人に、この場をおかりして、感謝申し上げます。今のデジタル化やネット上での世界ではあじわえない思い出づくり、思い出育ち、人づくりがこの町にはあるのです。この町、人に、ありがとう!!
引き続き、子どもたちを見守って下さいね。(寺尾)



代表 寺尾文彦

取材をし、感じたことを書かせていただきます。

寺尾さんは「若いころ、単身、アフリカへ渡り、右も左も解らず、苦労した経験から今の仕事につながっており。3.11もボランティアとして行っている。」と聞きました。

人柄も良く、人望も厚い人です。記事を読んでも、肝心な事をズバツと言えないのか、もどかしさを感じます。

「がんばれー」と言うのと彼の考えと違うかも。自分にできることがあればと思いつつ、応援をしています。(佐々木)

親子タウンウォッチング

21号のまち協ニュースで、集合写真の間違ひがありましたので、もう一度掲載させていただきます。申し訳ありませんでした。深く、お詫び申し上げます。



2020 10 29